

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【下北地区研修】

9月6日(火)13:30～16:00 むつ市中央公民館 受講者18名

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

2 内容

【講義・演習】「事業の企画力の向上」

講師 Mr. マサクこと ^{くどろう} 工藤 ^{たかまさ} 貴正 氏



工藤 貴正 氏

3 講義要旨

- 「事業の企画力向上」のためには、多くの情報に積極的に触れることが大切です。
- そのためには、アイデアを組み合わせたり、物事を見る視点を変えたりする等の習慣を身につけましょう。
- 企画は、「楽しく」「分かりやすく」が大切。「難しく」「わかりにくい」では、誰も参加しませんよ。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	82.4%	どちらかと言えば満足	17.6%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- 下北にいと、オンライン参加が多いですが、まずは会場開催していただいたことに感謝申し上げます。これほどまでにオンライン参加ではなく、会場参加であることに意義がある研修はなかなかないと思いましたし、自分自身がイベントを企画する際は、会場に来て良かったと思って帰ってもらえるようなイベントを企画したいと思いました。日頃の出来事に目を向け、見方を様々に変えつつ、少しでも担当事業がうまくいくように取り組んでいきたいと思えます。本日は、ありがとうございました。
- あっという間の2時間半でした。もちろん、マジックも楽しかったのですが、何より間の話術！まさに「会話」という感じでした。こういった導入やつなぎがあるからこそその充実した時間なんだなあと感じました。「視点を変える」分かってはいても、苦手だと感じる人が多いのですが、もっと気楽にできそうなヒントをもらった気がします。ありがとうございました。
- アルファベットを当てるマジックについて、手紙に移った失敗をもとに考えた、という話をしていただいたが、失敗から新しいことを考えるということが、大変心に残りました。
- ものごとの見方、視点を変える大切さを知りました。「固定観念にとらわれず、自由に発想してみる。」「時には疑ってみる。」楽しく、ためになるお話をありがとうございました。

知的好奇心をくすぐる楽しい演習を交えながら、視点を変えることの大切さ、アイデアを組み合わせることの効果などをお話くださった工藤氏。受講者も大変刺激を受けたことが感想からも伺えます。オンライン参加の方からも「次回は会場で体験してみたいと思えました。」との声をいただきました。